

社会資本総合整備計画

とうじょう
東城地区

ひろしま しょうばら
広島県 庄原市

平成23年 3月

都市再生整備計画

とうじょう
東城地区

ひろしま しょうばら
広島県 庄原市

平成23年 3月

都市再生整備計画の目標及び計画期間

都道府県名	広島県	市町村名	庄原市	地区名	東城地区	面積	104 ha
計画期間	平成 23 年度 ~ 平成 27 年度	交付期間	平成 23 年度 ~ 平成 27 年度				

目標
 にぎわいや活力ある東城地区市街地の創出
 ・東城の「顔」である城下町を活かした、来街者が四季を通じてまた訪れたいまちをつくる
 ・住んでいる人が暮らし続けたい、住み続けたいと思えるように、明るく安全な楽しい暮らしを確保し、住民活動の充実したまちをつくる
 ・庄原市の東のターミナルタウンとして機能した地域内外交流を促進する

目標設定の根拠
まちづくりの経緯及び現況
 東城地区は都市機能集積地区である
 ・東城ICが近接しており、交通拠点となるだけでなく行政などの都市機能が集積した地区である。また、東城IC付近には、道の駅「遊YOUサロン東城」があり、交流拠点、観光拠点となっている。
 まちなみは衰退傾向にある
 ・まちなみは江戸時代から城下町としてつくり、明治から昭和初期に至るまで発展してきたが、現在は、商業施設の郊外化や少子高齢化などにより、後継者不足、店舗の老朽化、空き家や空地、空き店舗の増加など、まちなみは衰退してきている。
 歴史・文化・自然資源を有する
 ・市街地周辺には、城下町の古いまちなみや城跡、イベント「お通り」などの歴史文化資源があり、市街地を南北に縦断する成羽川が流れ、川には桜並木や県天然記念物の甌穴などの自然資源も多くある。
 生活環境面に問題がある
 ・高齢化しているにもかかわらず、特にバリアフリー化されていない公共施設や道路が残るなど、生活環境に問題を抱えている。
 観光客の受入体制が未整備である
 ・市街地では、観光客を受け入れる体制が整備されていない。
 まちなみににぎわい再生に向けて、協働による活動が展開されつつある
 ・まちなかのにぎわい創出のために、住民と行政が協働して「春まつり」や「まちなみぶらり散歩ギャラリー」が開催されており、このようなまちづくりに関する住民意識は高揚しつつあると言える。
 ・平成22年1月には、国土交通省 中国地方整備局が支援する「夢街道ルネサンス」に「街道東城路」が新規認定され、同4月には地域情報提供や物産品販売を行う観光交流拠点施設「えびす」がオープン、同7月には城下町のまちなみのシンボルである「三楽荘」の改修も行われるなど、にぎわい再生にむけた取組も進められている。
 ・「えびす」が備える機能や役割、「三楽荘」の活用計画、「地区のまちづくり計画」等の検討には地域住民が参加しており、まちづくりに向けた協働の機運は高まっていると言える。

課題
まちなみの再生
 ・東城地区の最大の特徴は、「城下町」であったことで、現在も古いまちなみを活かしたイベントなどが進められていることから、これを支えるまちなみの再生に向けて、シンボルづくりとともに魅力を創出する必要がある。
 新たなにぎわいの創出と観光客の受け入れ環境の整備
 ・住民と行政とが協働しながら、新たな魅力づくりや、空き店舗や空き地の活用などにより、にぎわいの再生を図る必要がある。
 ・交流や休養の拠点である道の駅や、交通拠点となるJR東城駅からまちなかへ観光客を案内し、誘導するしくみが必要である。
生活環境の向上
 ・子供や高齢者が安心して安全に、かつ便利に楽しく暮らせるまちづくりが必要である。
 ・地域の身近なうおいを創出し、健康づくりに寄与する必要がある。
まちづくりを支える住民組織の構築
 ・住民の参画するまちづくりに向けた検討を、まちづくりを支える住民の活動組織構築の契機とする必要がある。

将来ビジョン(中長期)
 ・庄原市の長期総合計画では、東城地域が、城下町として栄えた歴史と高速道路・JRが通過している状況から、ターミナルタウンとして機能していること、一方で帝釈峠などの観光資源が所在しているため、人と自然との交流で地域が発展する環境を有していることなどを踏まえて、将来像を支える地域展望のイメージフレーズとして「人と自然の調和のふるさと 東のターミナルタウン 東城地域」を掲げている。また、将来像の実現に向けた土地利用の方向性の設定において、東城地域は庄原地域に準ずる都市機能集積エリアとして設定されている。
 ・都市計画マスタープランでは東城地域の将来の姿として、交通、中心商業業務、商業の各拠点への連絡を安全・円滑にすることにより、暮らしやすい都市づくりを目指し、歴史・文化を活かしたまちづくりを進め、にぎわいのある都市づくりを目指している。

目標を定量化する指標

指 標	単 位	定 義	目標と指標及び目標値の関連性	従前値		目標値	
					基準年度		目標年度
「まちなみぶらり散歩ギャラリー」及び「東城まちなみ春まつり」における会場数合計	箇所	にぎわい創出イベントである「まちなみぶらり散歩ギャラリー」及び「東城まちなみ春まつり」に参加する商店街の商店やイベント会場数の合計。	東城の「顔」づくりに向けて魅力向上に取り組むことにより、また訪れたいまちづくりを目指し、地域の協働の指標として、イベントへの参加商店や会場の増加を図る。	144	H21	154	H27
(仮称)とうじょう自治総合センターの利用者数	人	(仮称)とうじょう自治総合センターにおける公民館活動などの住民活動利用及びホール利用者数、図書館利用者数の合計。(なお、従前値は既往の東城公民館(東城文化会館)の利用者数及び老人福祉センターのホールの利用者数、図書館東城分館の合計。)	バリアフリーや様々な住民活動に対応した(仮称)とうじょう自治総合センターを整備することにより、楽しい暮らしの確保や住民活動の充実したまちづくりを目指し、住民活動利用者数やホールでのイベント利用者数、住民活動と連携した学習の場としての図書館利用者数などの増加を図る。	46,900	H21	50,000	H27
来街者向けイベントの入込観光客数合計	人	入込観光客のうち、来街者が多いイベント「まちなみぶらり散歩ギャラリー」、「東城まちなみ春まつり」の観光客数の合計。	案内サインや駐車場の整備など、観光客の受け入れ体制を整備することにより、地域内外の交流促進を目指し、観光客数の増加を図る。	60,000	H21	65,000	H27

都市再生整備計画の整備方針等

計画区域の整備方針	方針に合致する主要な事業
<p>東城の「顔」である城下町を活かした、来街者が四季を通じてまた訪れたいくなるまちづくり</p> <ul style="list-style-type: none"> ・城下町のまちなみと連携するシンボルづくりを進め、東城の「顔」の魅力の向上を図る。 	<p>東城駅前ポケットパーク(基幹事業:公園) まちかと広場整備(基幹事業:地域生活基盤施設) 案内サイン等整備(基幹事業:地域生活基盤施設) 五品嶽城跡整備(提案事業) 資源散策ネットワークの検討(提案事業) まちなみ活性化ワークショップ(提案事業)</p>
<p>住んでいる人がぐらし続けたい、住み続けたいと思える、明るく安全な楽しいくらしの確保と住民活動の支援</p> <ul style="list-style-type: none"> ・バリアフリーに対応した施設整備や安全な歩行空間の整備を図る。 ・住民の文化活動やそれらの組織の活動拠点となる施設整備を図る。 ・地域住民の健康づくりや生活利便性の向上への寄与を図る。 	<p>東城駅裏線支線整備(基幹事業:道路) 東城駅前ポケットパーク(基幹事業:公園) 駐車場整備(基幹事業:地域生活基盤施設) 五反田堰切線改良(基幹事業:高質空間形成施設) (仮称)とうじょう自治総合センター整備(基幹事業:高次都市施設) 東城公民館及び老人福祉センター解体事業(提案事業) 五品嶽城跡整備(提案事業) (仮称)とうじょう自治総合センター内図書館整備(提案事業) 資源散策ネットワークの検討(提案事業) まちなみ活性化ワークショップ(提案事業)</p>
<p>庄原市の東のターミナルタウンとして機能した地域内外交流の促進</p> <ul style="list-style-type: none"> ・観光客の受け入れ体制の整備を図る。 	<p>東城駅裏線支線整備(基幹事業:道路) 東城駅前ポケットパーク(基幹事業:公園) 駐車場整備(基幹事業:地域生活基盤施設) 案内サイン等整備(基幹事業:地域生活基盤施設) 五反田堰切線改良(基幹事業:高質空間形成施設) 資源散策ネットワークの検討(提案事業) まちなみ活性化ワークショップ(提案事業)</p>
<p>その他</p> <ul style="list-style-type: none"> ・事業終了後の住民等による継続的なまちづくり活動の内容 ・現在、住民と行政とが協働で取り組んでいる、にぎわい創出に欠かせない「春まつり」や「まちなみびらり散歩ギャラリー」を継続し、新たな試みを盛り込むなど発展にも取り組んでいく。 ・当事業を契機として、まちなみ再生やガイド育成、マップづくりなどの今後のまちづくりを支えるまちづくり組織の構築を図り、その活動を支援する。 <p>まちづくりの目標の達成に向けた、交付期間中の計画の管理に関する内容、回数等</p> <ul style="list-style-type: none"> ・主にソフト事業においては、地域住民の参加を前提とした事業を推進するなど、地域住民の要望や意見を取り入れ、地域の実情にあった実効性の高いまちづくりを進めていく。 ・事業や指標に関する情報は、その内容や進捗状況を広く一般に公開し、地域住民の声を取り入れながら住民参加型の手法でまちづくりの過程を検証していく。また、その活動では、単に指標の達成状況の確認にとどまらず、その問題点や課題の解決に向けた取り組みも積極的に行う。 	

